

第2回 教育課程編成委員会 報告書

日時： 令和4年3月11日（金）10：30～11：30

場所： 松本理容美容専門学校 校長室

出席者： 有限会社 ターバン代表 久保 竹志先生

有限会社 タケダ美容室 竹田 寛子先生

小原校長 小口教務主任 酒井主任

1. 校長挨拶

コロナ渦2年目において、規模を縮小したがビューティコレクションや、修学旅行学び等の行事を行うことができました。また、感染対策のリモート授業など、従来にない取り組みを手探りながら行い、何とか授業を止めることなく行うことができました

卒業式は、学校にて保護者も列席して行いました、入学式においては、学校外の会場が、人数規制があるため、校内で行い、保護者は別室からモニターにて視聴をしていただく形を問う予定。

2. 2021年度自己評価について（別紙にて）

- ・実施報告（変更事項一覧）
- ・2021年度 実施報告（目標）
- ・2022年度 実施目標

各行事において、できる限り、生徒主体で動けるサポート体制を強化し、達成感を持たせることも、満足度を上げていくのには必要となる

3. 2022年度理美容科授業日程（別紙）

美容科2年生の選択授業の内容を一部変更、増やすことで生徒の選択肢を増やし、将来の目標設定につなげる。また、1年生から、シャンプー、ヘッドスパの技術をしっかり身につけていけるよう、授業を組んでいく

4. 令和3年度2年生就職状況（別紙）

就職先も多様化していくので、サロン側も対応できるようにしていくことも大切

5. 松本校教職員自己評価結果

キャリアの差がある分、個々が見直すには良い機会である

6. 委員からの提案

・久保委員からの提案

コロナに対して変わるべきにして、変わること。変わらぬに行うことがあり、柔軟な対応が求められる。教育理念を知ったうえで外部講師も職員も意識統一をしっかりとっていくことで学校自体のレベルアップができていけると思う。

・竹田委員からの提案

学校とサロンとのギャップができてしまうので、指導していく中には、やさしさと、厳しさの使い訳が今まで以上に必要になってきている。仕事の楽しさを理解させるようにしていきたい。